

# 「子どもの生活実態調査」の実施について

## 1 趣旨

次期子どもの貧困対策推進計画等の策定や、今後の施策展開に向けた基礎資料とするため、子どもの生活実態について調査を実施するもの。

## 2 調査の概要

(1)調査地域	山口県全域
(2)調査対象	小学校5年生、中学校2年生の子ども及びその保護者
(3)標本数	各2,000世帯
(4)抽出方法	無作為抽出(全市町より抽出)
(5)調査方法	アンケート(学校を通じて配布・回収)
(6)調査期間	令和5年11月中旬 ※2週間程度の予定

## 3 設問設定

### (1) 基本的考え方

○前回調査(R元年)は、県独自の調査項目を設定。その後、国が共通調査項目を示すとともに、全国調査を実施(R2)したことから、今回の調査については、全国との比較も可能となるよう、国に準拠した調査項目を設定。

○子どもや保護者の生活状況について、本県の実態を把握するとともに、世帯収入や親の婚姻状況等による子どもの学習・生活・心理等への影響を把握する。

### (2) 調査内容

#### ◆保護者票

項目	設問数
①回答者の続柄	1
②居住地	1
③家族構成と世帯人数	1
④親の年齢	1
⑤単身赴任の有無	1
⑥親の婚姻状況	1
⑦家族で使用している言語	1
⑧親の学歴・雇用形態等	3
⑨幼児期の教育	2
⑩保護者の関わり方	1
⑪学校行事への参加	1
⑫進学の見通し等	2
⑬保護者の頼れる相手	1
⑭暮らし向き(主観)	1
⑮世帯収入	1
⑯滞納・欠乏経験	3
⑰精神状態	1
⑱主観的幸福(生活満足度)	1
⑲支援の利用状況	1

#### ◆小学生・中学生票

項目	設問数
①本人の性別	1
②学習環境	1
③学習習慣	1
④学習成績	1
⑤授業の理解度	1
⑥授業についていけなくなった時期	1
⑦進学希望	1
⑧想定する進学先の理由	1
⑨部活動等の状況等	2
⑩食事の頻度	1
⑪就寝時間の規則性	1
⑫信頼できる大人・友人	1
⑬主観的幸福(生活満足度)	1
⑭精神状態	1
⑮家族のこと	1
⑯支援の利用状況	1
⑰支援の効果	1

## 4 調査結果

子育て文化審議会では報告するとともに、ホームページ等で公表する。